

平成30年度

第1回定期監査
結果報告書

(平成30年11月執行分)

御殿場市監査委員

30御監第252号
平成30年12月25日

御殿場市長 若林洋平様

御殿場市監査委員 鈴木 健
御殿場市監査委員 勝間田 博文

定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、平成30年度第1回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

平成30年度第1回定期監査結果報告書

第1 監査の対象

教育委員会教育部 原里小学校、朝日小学校、原里中学校、西中学校、高根中学校
原里幼稚園、玉穂幼稚園

健康福祉部 玉穂第1保育園、玉穂第2保育園

第2 監査の期間

平成30年10月31日から11月21日まで

第3 監査の範囲

平成30年4月1日から9月30日までの財務に関する事務事業の執行状況

第4 監査の方法

提出された監査書類による説明聴取及び関係諸帳簿の照合と施設の管理状況の実査

第5 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。また、改善を要する事項及び軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。
また、執行率は99.95%～99.99%の場合99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの
「 △ 」 … マイナスのもの
- 5 歳出予算執行状況は、人件費を除いた数値である。

教育委員会教育部(小学校・中学校・幼稚園)

1 監査の対象

原里小学校、朝日小学校、原里中学校、西中学校、高根中学校、原里幼稚園、玉穂幼稚園

2 監査の結果

監査した結果、予算執行及び会計事務処理は適正に行われており、施設等の管理状況も概ね適正であった。指摘事項は見受けられなかった。改善を要する事項及び軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

(1) 予算の執行状況

各学校、幼稚園の平成30年度における予算の執行状況は、次のとおりである。なお、幼稚園の予算については、一部を除いて保育幼稚園課が担当している。

原里小学校

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残高
学 校 管 理 費	3,445,000	1,060,823	30.8	2,384,177
学校運営経費	2,001,000	879,858	44.0	1,121,142
施設管理費	858,000	73,717	8.6	784,283
施設整備費	430,000	73,386	17.1	356,614
特別支援学級諸費	156,000	33,862	21.7	122,138
教 育 振 興 費	330,000	160,546	48.7	169,454
合 計	3,775,000	1,221,369	32.4	2,553,631

朝日小学校

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残高
学 校 管 理 費	2,879,000	1,566,195	54.4	1,312,805
学校運営経費	1,837,000	997,165	54.3	839,835
施設管理費	579,000	151,211	26.1	427,789
施設整備費	400,000	399,113	99.8	887
特別支援学級諸費	63,000	18,706	29.7	44,294
教 育 振 興 費	475,000	130,646	27.5	344,354
合 計	3,354,000	1,696,841	50.6	1,657,159

原里中学校

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残高
学 校 管 理 費	3,070,000	905,965	29.5	2,164,035
学校運営経費	1,765,000	586,588	33.2	1,178,412
施設管理費	854,000	138,577	16.2	715,423
施設整備費	300,000	161,816	53.9	138,184
特別支援学級諸費	151,000	18,984	12.6	132,016
教 育 振 興 費	684,000	595,044	87.0	88,956
合 計	3,754,000	1,501,009	40.0	2,252,991

西中学校

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残高
学 校 管 理 費	2,693,000	666,803	24.8	2,026,197
学校運営経費	1,296,000	379,741	29.3	916,259
施設管理費	870,000	48,014	5.5	821,986
施設整備費	300,000	164,656	54.9	135,344
特別支援学級諸費	227,000	74,392	32.8	152,608
教 育 振 興 費	285,000	135,132	47.4	149,868
合 計	2,978,000	801,935	26.9	2,176,065

高根中学校

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残高
学 校 管 理 費	1,979,000	630,421	31.9	1,348,579
学校運営経費	1,187,000	359,952	30.3	827,048
施設管理費	492,000	125,502	25.5	366,498
施設整備費	300,000	144,967	48.3	155,033
教 育 振 興 費	177,000	65,969	37.3	111,031
合 計	2,156,000	696,390	32.3	1,459,610

原里幼稚園

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残額
幼 稚 園 運 営 経 費	526,000	244,865	46.6	281,135
施 設 管 理 費	262,000	24,137	9.2	237,863
施 設 整 備 費	121,000	25,460	21.0	95,540
合 計	909,000	294,462	32.4	614,538

玉穂幼稚園

(単位:円・%)

科 目	配 当 予 算 額	支 出 済 額	支 出 率	予 算 残 額
幼 稚 園 運 営 経 費	489,000	138,416	28.3	350,584
施 設 管 理 費	230,000	14,958	6.5	215,042
施 設 整 備 費	104,000	33,698	32.4	70,302
合 計	823,000	187,072	22.7	635,928

(2)財産管理の状況

ア 施設等の管理

施設等については概ね適正に維持管理されていた。各学校・園とも定期的に点検を実施して状態を把握し、児童・生徒の安全確保に努められていた。

イ 備品等の管理

備品等について備品関係台帳及び寄付採納簿を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

ウ 郵券等の管理

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(3)防災・防犯対策等に係る状況

ア 防災対策

防災対策については、地震・火災等を想定した防災訓練を年間計画に基づき実施している。訓練する時間帯を変え、消防署と連携した火災避難訓練、予告なしの地震避難訓練など、いざというときにどう動くかを実践していた。また、「緊急時引き渡しカード」の作成や保護者への引き渡し訓練、幼稚園・小学校・中学校が合同で保護者引き渡し訓練を実施するなどの対応がとられていた。

イ 防犯対策

防犯対策については、子供たちの安全を第一に考えた組織的な対応や保護者に名札をつけさせ、関係者以外の立ち入りについて普段から気を配るとともに、不審者かどうかを見極め、退去させる、通報するなどの防犯訓練を実施するなどの対応がとられていた。

(4) 個人情報保護に係る状況

個人情報保護については、システム改修に伴い、教職員に貸与されている PC 等からはデータの取り出しができない(USB メモリ等の接続が制限される)など、情報漏洩への対策が取られていた。

(5) 改善事項

補助金による備品の購入が行われている。備品の購入については、管財課によるヒアリング後に予算計上を行っている。予算編成後に備品購入の必要が生じた場合は、財政課と協議し、補正予算、流用などにより備品購入費に予算計上を行い、執行されたい。

(6) 意見・要望事項

- ア 学校・園においては、児童・生徒の不便や危険のないように必要な予算を要望して頂くとともに、教育委員会・保育幼稚園課においては、予算の縮減が進み困難はあるかと思うが、メリハリのある予算の調製と適正な執行に努められるよう望む。また、事業の執行にあたり財産区及び地元法人等に多大なご協力を頂いているが、その有無により教育環境に地域的格差が生じないよう、引き続き平準化に努められたい。
- イ 防災対策、防犯対策については、情報共有を図り今後も定期的に訓練を実施して、緊急時に円滑な対応を取ることができるよう努めて頂きたい。また、不審者対策については、警察並びに地域と連携して適切に対処されるよう望む。
- ウ 学校徴収金の未納・滞納者対策に早期に取り組まれていることは評価するところであり、今後も適切な収納対策に努めて頂きたい。
- エ 特別な支援が必要な園児・児童が増加傾向にあるとのことだった。教育委員会や福祉部局と連携し、発達支援システムを活用しながら、早期にまた一元的に対応されたい。
- オ 園児が減少傾向にある一方で、平成29年度から試行されている預かり保育については利用者も徐々に増え、平成31年度からは本実施となる。幼稚園における職員の配置について、育児休暇の取得、特別な支援が必要な園児の補助等の要因も含め、適切な人員配置に努められたい。
- カ 個人情報の保護については、紙媒体もあることから、引き続き管理に注意されたい。

健康福祉部(保育園)

1 監査の対象

玉穂第1保育園、玉穂第2保育園

2 監査の結果

監査した結果、予算執行及び会計事務処理は適正に行われており、施設等の管理状況も概ね適正であった。指摘事項は見受けられなかった。改善を要する事項及び軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

(1) 予算の執行状況

保育園の平成30年度における配当予算の執行状況は、次のとおりである。

玉穂第1保育園

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残高
保 育 所 費	1,727,000	503,762	29.2	1,223,238
保育所運営費	1,675,000	495,392	29.6	1,179,608
施設整備費	52,000	8,370	16.1	43,630
子ども家庭センター費	36,000	0	-	36,000
合 計	1,763,000	503,762	28.6	1,259,238

玉穂第2保育園

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残高
保 育 所 費	1,380,000	406,233	29.4	973,767
保育所運営費	1,328,000	406,233	30.6	921,767
施設整備費	52,000	0	-	52,000
子ども家庭センター費	36,000	0	-	36,000
合 計	1,416,000	406,233	28.7	1,009,767

(2) 財産管理の状況

ア 施設等の管理

施設等については概ね適正に維持管理されていた。各園とも定期的に点検を実施して状態を把握し、園児の安全確保に努められていた。

イ 備品等の管理

備品等について備品関係台帳等を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(3) 防災・防犯対策等に係る状況

ア 防災対策

防災対策については、地震・火災等を想定した防災訓練を年間計画に基づき毎月1回実施し、職員一人ひとりの防災に対する責務及び防災意識の啓発が図られていた。また、幼稚園・保育園・小学校・中学校が合同で保護者引き渡し訓練を実施する(西中学校区)などの対応がとられていた。

イ 防犯対策

防犯対策については、不審者侵入時の緊急対応などマニュアルを作成し、不審者の侵入に対する訓練を実施するなど子供たちを安全な場所に導き、不安を感じさせないように行動するなどの対応がとられていた。

(4) 改善事項

補助金による備品の購入が行われている。備品の購入については、管財課によるヒアリング後に予算計上を行っている。予算編成後に備品購入の必要が生じた場合は、財政課と協議し、補正予算、流用などにより備品購入費に予算計上を行い、執行されたい。

(5) 意見・要望事項

ア 園においては、園児の不便や危険のないように、必要な予算を要望して頂くとともに、保育幼稚園課においては、予算の縮減が進み困難はあるかと思うが、メリハリのある予算の調製と適正な執行に努められるよう望む。また、事業の執行にあたり財産区及び地元法人等に多大なご協力を頂いているが、その有無により保育環境に地域的格差が生じないよう、引き続き平準化に努められたい。

イ 防災対策、防犯対策については、保護者の関心が非常に大きい部分であるため、今後も定期的に訓練を実施して、緊急時に円滑な対応を取ることができるよう努めていただきたい。また不審者対策については、警察並びに地域と連携して適切に対処されるよう望む。

ウ アレルギーを持った園児への給食・おやつ等に係る対応は、引き続き厳に徹底されたい。

エ 特別な支援が必要な園児については、教育委員会や福祉部局と連携し、発達支援システムを活用しながら、早期にまた一元的に対応されたい。

オ 熱中症対策やブロック塀倒壊対策を早期にとられた。今後も送迎時、保育時の安全対策に努められたい。